

カンボジア 職業訓練校開設にむけて ～世田谷の熟練工業技術者たちの取組み～

国際協力機構(JICA)は1月20日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社 TOMONARI(東京都世田谷区池尻、代表取締役 友成 富美)が提案する「実践的基礎技術を習得した工業人材育成事業基礎調査」(カンボジア)を採択しました。

カンボジアでは、国の経済力を高めるため産業人材の育成が急務となっています。特に今後拡大が予想される工業分野で必要とされる「技能工」の需要が顕在化しており、実務的な基礎技術や応用力を持つ技術者の育成が求められています。

株式会社 TOMONARI は、プラスチック加工を行う企業より立ち上がった映像作成や企画を行う企業であり、業務上、様々な業種の熟練工とのネットワークを持ちます。7年前より今後工業化が進む ASEAN でのアナログ技術を伝承する必要性や日本技術の移転を考え2013年から「カンボジアものづくりプロジェクト」を始動。2014年には世田谷区の熟練工等と共に、カンボジアへ機械彫刻機2台を持ち込み、プノンペンでは工場働く女性と高校生に手動機械を使った名札作り、シェムリアップでは中学生を対象とした風車作りのワークショップを開催しました。この活動への反響は高く、今後、若年層や女性も技術を習得し雇用機会を得ることへの期待があがりました。

これらの取組みをきっかけに、現地に職業訓練校を開校し、工業技術の基礎となる技術や、実機操作・機械のメンテナンスや修理ができる人材を日本の熟練工と共に育成する事業のニーズを認識し、今回の提案に至りました。



現地女性工員との名刺作り



風車作りワークショップ

本調査では、職業訓練校開設に向けてカリキュラムの作成や工業分野にて求められるスキル、私的学校や現地法人設立における制度等、具体的な職業訓練校開設に向けた調査を予定してい

ます。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」として実施されます。基礎調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2015 年度分は昨年 9 月に公示を行いました。40 件の応募のうち 17 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2015 年度公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001pm6r5-att/fs_20150904_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 千葉 (案件担当)、橋本 (広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail : pdtfs@jica.go.jp